

松柏社  
新刊案内

10月23日発売!

# 実践医療通訳

村松紀子／連利博／阿部裕 [編著]

A5判 236頁 定価：本体2,200円+税 ISBN978-4-7754-0224-5

前著「医療通訳入門」から8年、最新の情報を盛り込んだ「実践編」が登場。

医療通訳を目指す学生の方、地域で活動する医療通訳者も必携の1冊!

200万人を超える中長期滞在外国人、2000万人時代を迎える訪日外国人観光客、日本の高度医療を求めて来日する医療ツーリズム患者。医療の国際化の波の中で外国人患者が医療機関を訪れる機会は年々増加し、専門スキルを持った医療通訳者の育成が喫緊の課題となっている。長年その育成や、制度化に向けた活動をしてきた著者たちの英知を結集した比類なき実践書!



## 目次

第1章 総論 「医療通訳の現状 大学病院」内田恵一、「クリニックにおける医療通訳の役割」小林米幸、「茨城県の医療通訳への取り組み」岩本郁子、「医療通訳のメンタルケア」中萩エルザ、「通訳コーディネーターから見た医療通訳者に求められる資質」岩田美加

第2章 各論 「精神科」阿部裕、「感染症(結核・HIV)」吉松由貴、「小児科」宮本泰行、「脳血管疾患」伊藤守、「消化器疾患」中島敏雄、「メタボリックシンドローム」梅澤剛、「栄養指導」加藤かな江、「医療通訳における医療ソーシャルワーカー(MSW)の役割」木村仁美、「DVと児童虐待」榊原佐和子、「配慮すべき医療の違い～国境ある医療のこと～」小笠原理恵

コラム 「素人の見立て」、「ヤマアラシのジレンマ」、「見えない傷を言葉で表現する難しさ」、「説得」、「少しでも通訳の需要」、「母子保健なお父さんの通訳?」、「病院で感じること」、「栄養指導の通訳」、「通訳を疑え!」、「守秘義務のこと」以上、村松紀子

ご注文はFAXで **03-3230-4857** まで

-----キリトリ線-----

取次番線印	実践医療通訳	冊
	定価：本体2,200円+税 ISBN978-4-7754-0224-5	

松柏社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-6-1 TEL 03-3230-4813(代)